

天佑ヲ保全シ萬世ニ系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國
皇帝ハ忠實勇武ナル汝有衆ニ示ス
朕茲ニ清國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ百僚有司宜
ク朕カ意ヲ體シ陸上ニ海面ニ清國ニ對シテ交戦
ノ事ニ從ヒ以テ國家ノ目的ヲ達スルニ努力スヘシ
苟モ國際法ニ戾ラサル限リ各權能ニ應ジテ
一切ノ手段ヲ盡スミテ必ズ遺漏ナカラムコトヲ期セヨ
惟フニ朕カ即位以來茲ニ二十有餘年文明ノ化
ヲ平和ノ治ニ求メ事ヲ外國ニ構フルノ極メテ不可
ナルヲ信シ有司ヲシテ常ニ友邦ノ誼ヲ篤クスルニ努



カセシメ幸ニ列國ノ交際ハ年々シ遂ニテ親密ヲ加フ
何ソ料ラム清國ノ朝鮮事件ニ於ケル我ニ對シ
テ着着鄰交ニ戾リ信義ヲ失スルノ舉ニ出
テムトハ

朝鮮ハ帝國カ其始ニ啓誘シテ列國ノ伍伴ニ就カ
シメタル獨立ノ一國タリ而シテ清國ハ毎ニ自ラ朝
鮮ヲ以テ屬邦ト稱シ陰ニ陽ニ其内政ニ干涉シ其
内乱アルニ於テロシ屬邦ノ拯難ニ藉キ兵ヲ朝
鮮ニ出シタリ朕ハ明治十五年ノ條約ニ依リ兵ヲ
出シテ變ニ備ヘシメ更ニ朝鮮ヲシテ禍乱ヲ永遠

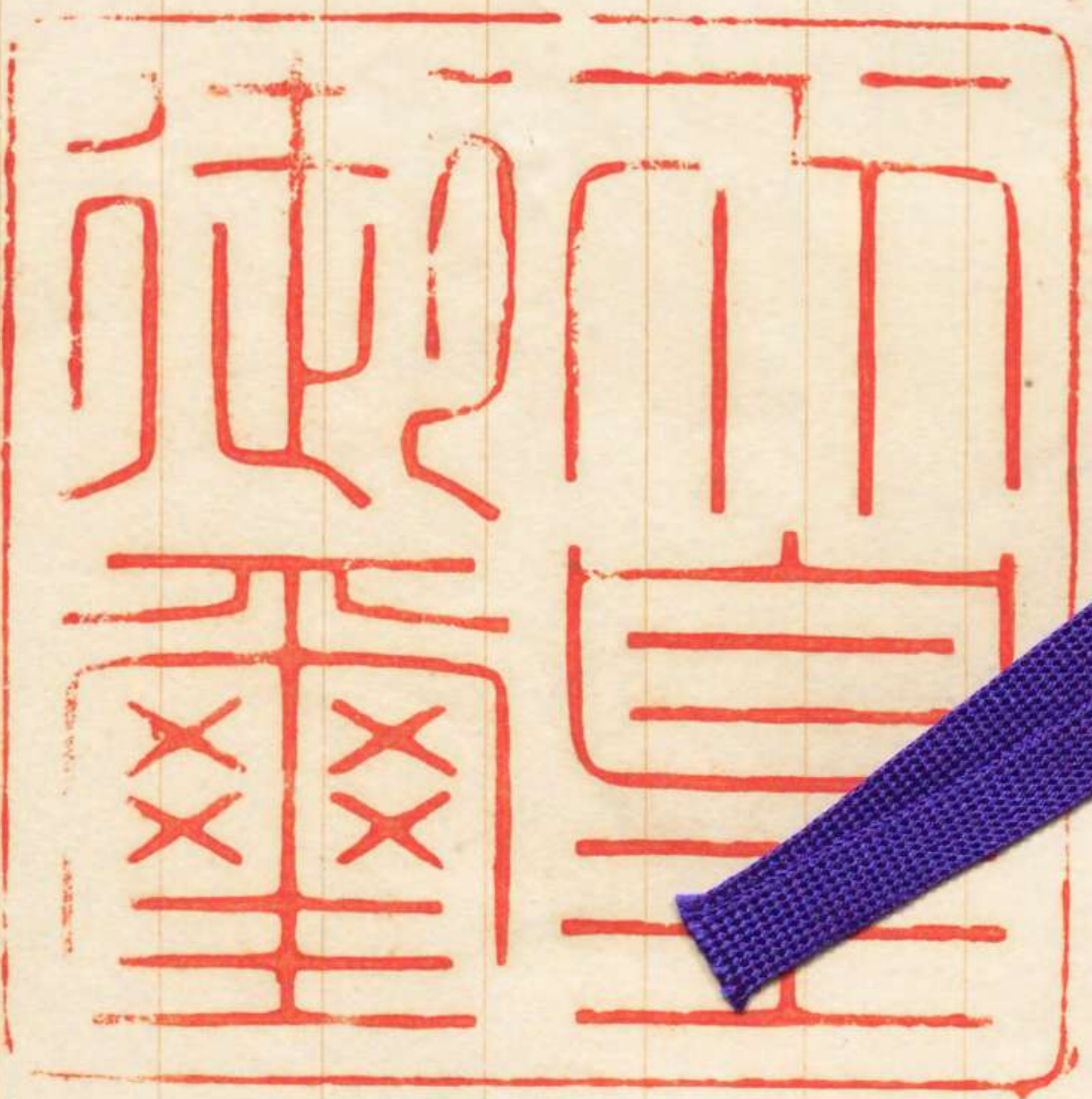
ニ免レ治安ヲ將來ニ保タシメ以テ東洋全局ノ
平和ヲ維持セムト欲シ先ツ清國ニ告クル協同事
ニ從ハムコトヲ以テシタルニ清國ハ翻テ種々ノ辭柄ヲ
設ケ之ヲ拒ミタリ帝國ハ是ニ於テ朝鮮ニ勸ム
ルニ其秕政ヲ釐革シ内ニ治安ノ基ヲ堅クシ外ハ
獨立國ノ權義ヲ全クセムコトヲ以テシタルニ朝鮮ハ
既ニ之ヲ肯諾シタルモ清國ハ終始陰ニ居テ百方
其目的ヲ妨碍シ刺ハ辞シ左右ニ托シ時機ヲ緩
ニシ以テ其水陸ノ兵備ヲ整ヘ一旦成ルヲ告クルヤ
直ニ其力ヲ以テ其欲望ヲ達セムトシ更ニ大兵ヲ

韓土ニ派シ我艦ヲ韓海ニ要撃シ殆ト亡状ヲ極
メタリ則チ清國ノ計図タル明ニ朝鮮國治安ノ
責シシテ歸スル所アラサシメ帝國カ率先シテ
之ヲ諸獨立國ノ列ニ伍セシメタル朝鮮ノ地位之
ヲ表示スルノ條約ト共ニ之ヲ蒙晦ニ付シテ帝國
ノ權利利益ヲ損傷シ以テ東洋ノ平和ヲシテ永ク
擔保ナカラシムルニ存スル疑フカラス熟ク其為スルニ
就テ深ク其謀計存スル所ヲ揣ルニ實ニ始メヨリ平
和ヲ犧牲トシテ其非望ヲ遂ケムトスルモノト謂ハサルハ
カラス事既ニ茲ニ至ル朕平和ト相終始シテ以テ帝國

ノ光榮中外ニ宣揚
ルシ得サナリ汝有勞
永遠ニ克復シ以テ帝國ノメダ

雖亦公ニ戦ヲ宣サ
倚頼ニ速ニ平和ヲ
期ス

睦仁

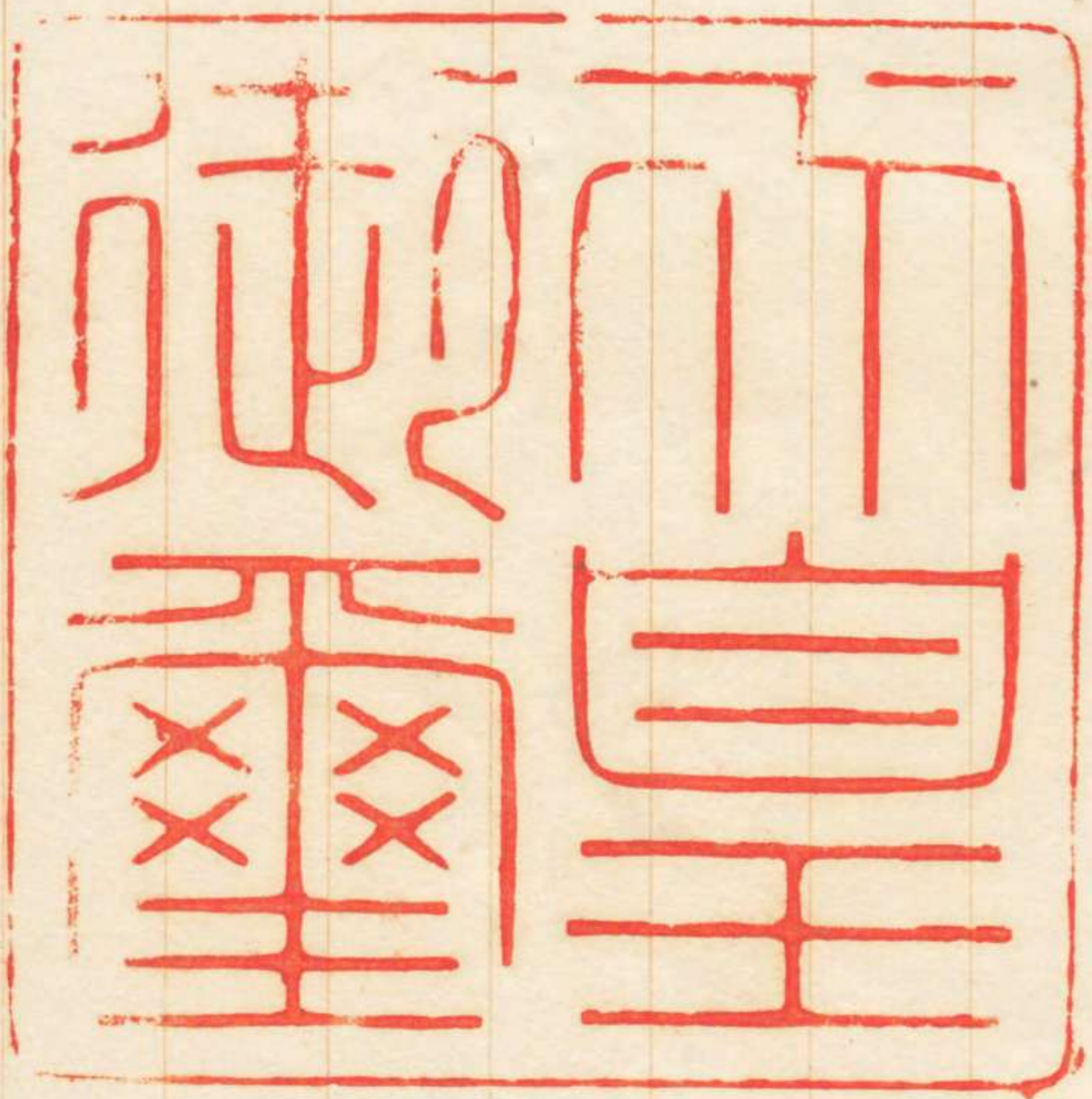


韓土ニ派シ我艦ヲ韓海ニ要撃シ治ト亡状ヲ極
メタリ則チ清國ノ計図タル明ニ朝鮮國治安ノ
責シシテ歸スル所アラサシメ帝國カ率先シテ
之ヲ諸獨立國ノ列ニ伍セシメタル朝鮮ノ地位之
ヲ表示スルノ條約ト共ニ之ヲ海ニ付シテ帝國
ノ權利利益ヲ損傷シ以テ洋ノ平和ヲシテ永ク
擔保ナカラシムルニ存スルヤ
就テ深ク其謀計ニ存スルヲ揣ルニ實ニ始メヨリ平
和ヲ犧牲トシテ其
カラス事既ニ茲ニ
相終始シテ以テ帝國



ノ光榮中外ニ宣揚スルニ專ナリト雖亦公ニ戦ヲ宣弁
ルシ得サルリ汝有衆忠實勇武ニ倚頼シ速ニ平和ヲ
永遠ニ克復シ以テ帝國ノ光榮ヲ全クセムト期ス

睦仁

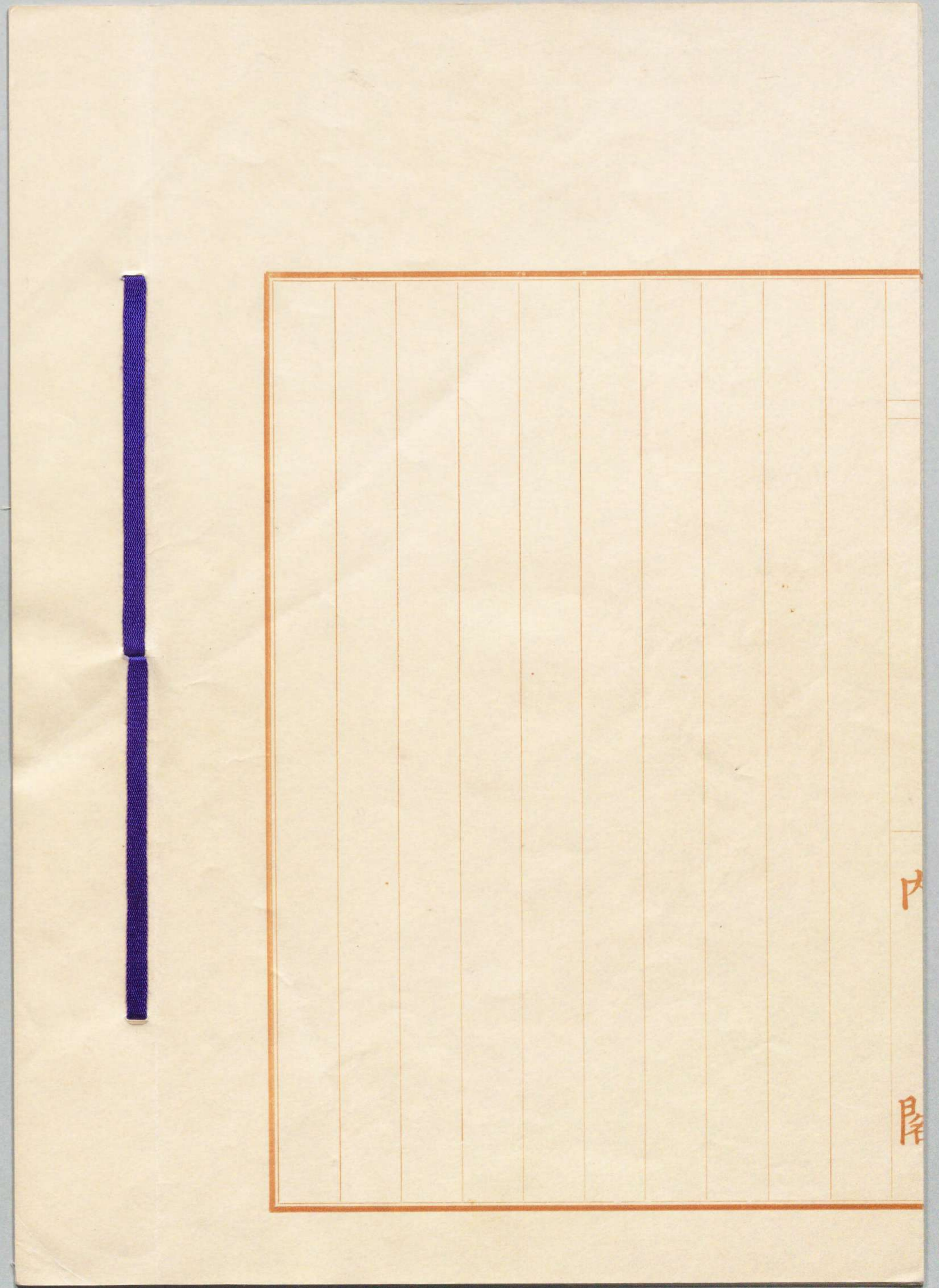


明治二十七年八月一日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文	遞信大臣伯爵黑田清隆	海軍大臣伯爵西郷從道	内務大臣伯爵井上馨	陸軍大臣伯爵大山巖	農商務大臣子爵榎本武揚	外務大臣陸奥宗光	大藏大臣渡邊國武	文部大臣井上
--------------	------------	------------	-----------	-----------	-------------	----------	----------	--------

司法大臣

芳川顯正



内

降